



発行：日本共産党 大垣市委員会

発行年月日：2018.12.8 第428号

連絡先：大垣市室本2町5丁目8番地 Tel：78-6865 Fax：73-8572

戦争法!
廃止

12月議会一般質問 12月10日午前10時から

笹田議員午前11時ころ 中田議員13時30分ころ 傍聴を!

12月議会一般質問は、10日午前10時から行われます。一般質問には11人の議員が質問にたちます。笹田議員は①非正規職員の問題 ②市民病院の医療理念。中田議員は①幼児教育の無償化について それぞれ質問します。是非傍聴をお願いします。 大垣市議会議員 笹田トヨ子 中田としや

笹田トヨ子議員一般質問要旨

①会計年度任用職員(臨時職員)について

大垣市で働く公務員は約4100人、その内、約1500人が非正規職員です。民間で働く非正規労働者は労働契約法で5年以上働く人は引き続き採用しなければなりません。公務員は対象ではありません。

地方公務員法の改定で、2020年4月からスタートする「会計年度任用職員制度」は、非正規の公務員の処遇について条例で定めなければなりません。制定するにあたり、以下の点について要求します。

- 1 「任期の定めのない常勤職員を中心とした公務運営」の原則を堅持すること。
- 2 臨時・非常勤職員から会計年度任用職員への移行に当たっては、不利益が生じることなく適正な勤務条件の確保が行われるよう、国会の付帯決議の内容を十分尊重すること。
- 3 条例制定にあたり、同一労働同一賃金の精神に基づき、臨時・非常勤職員の処遇改善を行うこと。(例えば、一時金や退職金、病気・夏季・育児・介護など特別休暇等)
- 4 法施行を契機に業務全般にわたりアウトソーシング・

民間委託がすすめられることのないように求める。

②大垣市民病院の良質な医療を求めて

大垣市民病院は、「患者中心の医療」「良質な医療の提供」を理念として取り組んでいますが、この理念に対してもっと頑張ってもらいたいと思われる点があり、以下について質問します。

1. 医療安全の取り組みについて

平成29年度の市民病院改革プランの実施計画評価で、医療機能・医療品質に係るものの中で、唯一「手術・処置等の合併症発生率」がD判定でした。私は平成19年と25年の一般質問で医療安全の問題について取り上げ、市の答弁では「インシデント・アクシデントレポートの報告を義務付け、レポートの分析及び改善策の検討を行い医療安全の取り組みを進める」というものでした。それから約10年、インシデント・アクシデントレポートの取り組みの中から見えてくるもの、市民病院の医療安全対策についての現状と評価を求めます。

2. 「患者中心の医療」どれだけ浸透しているか、

(1) よろず相談センターの役割について

最近、医療費の未払いで督促を受けた方が医事課窓口とよろず相談窓口で相談したがたらい回しになってしまった。生活困窮を背景とした医療費滞納問題はどこで対応

するのか。よろず相談・地域連携課の役割と現状について、質問します。

(2) 差額ベッド料(個室料金)について

厚労省通知は、以下のケースは差額ベッド料金を徴収してはならないとしています

- ①同意書による同意の確認を行っていない、
- ②「治療上の必要」により差額ベッド料の部屋に入院
- ③病棟管理の必要性などから、差額ベッド料の部屋に入院。(この中には、大部屋が満室の場合も含む)

厚労省の3要件に当てはまると思われるケースで、個室料金30万円を請求されました。

①市民病院は特別室の使用にあたり、個室料金や厚労省の3要件を書いたものを提示して、同意書を書いているのか。

②病棟職員(医師や看護師)は個室の使用にあたっての、厚労省の通達について知っているか、また患者さんへの説明マニュアルに盛り込まれているか。

中田としや議員一般質問要旨

幼児教育の無償化について

来年10月から幼児教育・保育の無償化が予定されている。子育て世帯の負担軽減や、子どもの健やかな成長を保障するという点から重要な政策である。その導入に伴い、本市の対応について質問する。

- ①本制度の課題は現時点で何であると考えているか。
- ②保育需要のさらなる拡大が見込まれるところであるがその対策は。保育士確保策について、現状と課題を問う。育休退園制度の廃止の考えは。